

 普通教室

機能名	機能詳細		エディション			
			SR	ST	LT	
ランチャー	電源制御	スリープ、シャットダウン、再起動、ログオフ		○	○	○
	一般アプリケーションの登録 / 起動					
	最近使ったファイルの表示					
	個人・グループフォルダ表示					
	教材リンク	情報モラル教材「CoCoral(こころる)」(遠鉄システムサービス株式会社) ^{※1,2}				
		「学習者用デジタル教材」(東京書籍株式会社) ^{※1}				
		プログラミング体験「プログラミン」(文部科学省)				
「Yahoo!きっず学習」Webサイト(ヤフー株式会社)						
ツールバー	活用形態ごとのツールバー設定		○	○	○	
	教員ごとの機能ボタン設定					
校内・校外連絡 ^{※3}	メッセージ送信		*	*	*	
	通話					
子どもの記録	記録	出欠		○	○	○
		健康観察				
		気づき	忘れ物チェック・発表回数・5段階入力			
		メモ				
		写真				
		集計表示 / 履歴表示				
	学習者の一覧表示	名簿				
		座席表	席替え			
		習熟度別表示				
	画面セイバー	パスコードによる画面ロック				
		投影非対応				
	職員室からの連絡					
	気づきの注意表示					
	記録データの出力					
	カメラ活用	静止画・ノート撮影	上下反転			
動画撮影		撮影時間の表示				

※1 別途購入が必要です。
※2 CoCoral(こころる) Vol.1(LINE版)、Vol.2(ゲーム編)に対応しています。
※3 Microsoft Office 365 Educationの契約が必要になります。

機能名	機能詳細		エディション				
			SR	ST	LT		
カメラ活用	動画編集	動画切り出し		○	○	○	
		静止画保存					
	インターバル撮影	等間隔撮影	撮影間隔の設定(2秒、3分、任意)				
		手動による連続撮影	前回撮影した静止画の透明度調整				
		連続再生	暗カット(少し、ふつう、たくさん)				
			繰り返し再生				
			逆再生				
		編集	暗カット(少し、ふつう、たくさん)・任意カット				
			静止画の結合				
	画像・動画補正	明るさ・台形					
	カメラ切り替え	IN / OUTカメラ					
	追っかけ再生	映像 / 音声					
		再生遅延時間設定 / 再生開始カウントダウン					
		位置調整ガイド					
	タイマー	カウントアップ / カウントダウン	サークル表示				○
バー表示							
アラーム設定							
ストップウォッチ		スタート / ストップ					
動画比較	比較	静止画ファイルの比較		○	○	○	
		動画ファイルの比較					
		インターバル撮影ファイルの比較					
	位置調整	重ね合わせ位置	移動 / 回転 / 拡大 / 順番				
		再生開始位置	ダイヤル調整				
		位置調整の保存					
	再生時の調整	再生速度の変更					
		個別再生					
		再生開始位置への復帰					
教材提示支援	投影	プロジェクタ、デジタルテレビなどへの投影		○	○	○	
	マーキング	フリーハンド					
	ズーム	範囲選択して拡大					

機能名	機能詳細		エディション			
			SR	ST	LT	
教材提示支援	スポット強調	スポットの移動		○	○	○
	目隠し付箋	付箋を貼る / はがす				
		色の選択				
	ファイル保存	静止画				
	カメラ	動作画面送信				
	教材・作品	サムネイル表示	個人フォルダ			
			回収した教材			
			USBメモリ等			
		画像の比較表示				
		画像補正	シャープネス・明るさ・台形			
	教材準備	教材登録				
スライドショー表示						
画面撮り	範囲選択してコピー		○	○	○	
	範囲選択して保存					
	矩形・楕円					
学習者機の設定・確認	使用する端末の設定	教員による一括選択	○	○	*	
		学習者による授業選択				
	状態確認	無線LAN状態の確認				
		充電状態の確認				
	Numロック・Capsロック状態の確認					
画面	画面転送	教員画面を学習者機へ送信	○	○	*	
		学習者画面を教員機へ送信				
		電子黒板のリモート操作				
	画面一覧					
	画面比較					
教材	教材配付 / 回収	一斉配付 / 個別配付	○	○	*	
発表	プロジェクタ、デジタルテレビなどへの投影		○	○	*	
	学習者機へ一斉送信					
ロック	一斉 / 個別		○	*	*	
	学校種によるロックイメージ					

機能名	機能詳細		エディション				
			SR	ST	LT		
投票	投票方法	問題文の設定	○	*	*		
		選択肢の設定					
		制限時間の設定					
	投票結果	グラフ表示、リスト表示、リアルタイム表示					
インターネット関連	Webブラウザ利用制限		○	*	*		
	指定URLの閲覧制限 / 許可						
	かんたんWebページ閲覧						
発表ノート	編集	ページ入れ替え		○	○	*	
		ペン、蛍光ペン					
		フリーハンド、テキスト入力、図形入力、スタンプ					
		手書き入力変換					
		素材貼付	マルチメディアファイル				
			スタンプ、アレイ図、時計				
			カメラからの取り込み				
			デスクトップからの取り込み				
			クリップボードからの取り込み				
		文字装飾	文字色、背景色、サイズ、縦書き				
		オブジェクト操作	グループ化、画像化、最前面・最背面移動、背景化、アンドウ、リドゥ				
		背景	半透明表示				
		画像・動画トリミング					
		資料置き場	ノート、ページ、マルチメディアファイルの教材の共有				
	保存・読み込み	画像として保存					
		PDFとして保存					
		PowerPointファイルの読み込み					
	印刷	分割印刷					
	作品管理	フォルダ作成					
		ノートのフォルダ間移動					
	スライドショー	スライドショー時のマーキング					

機能名	機能詳細			エディション				
				SR	ST	LT		
発表ノート	配付	教員機の画面を配付			○	○	*	
		ノート、ページの配付						
		配付のお知らせ表示						
		一斉 / 個別						
	提出	学習者からの提出						
		提出したノートの一覧表示、比較表示、絞り込み						
	回収	ノートの一斉回収						
		日付、名前、ノート名での絞り込み検索						
	履歴表示	提出、回収したノートを学習者ごとに比較表示						
	画像合成	複数の学習者のページを一枚に合成						
		合成後に学習者を特定	個別 / 複数					
		特定の学習者を強調表示	スライド調整					
		合成結果を学習者へ配付						
	マッピング	カード	文字	キーボード入力				
				手書き入力				
				サイズの自動調整				
			画像	カメラからの取り込み				
				ファイルの取り込み				
				トリミング				
				クリップボードからの取り込み				
		書式設定						
		背景設定						
		枠設定						
		接続線	実線、2重線、点線、矢印					
			循環接続					
		レイアウト	ページの自動拡張					
			カードの自動整列					
			カードをまとめて移動、重なり防止（自動回避）					
		文章アシスト	カードをツリー状に自動配置					

機能名	機能詳細				エディション			
					SR	ST	LT	
発表ノート	マッピング	文章アシスト	つながぎ言葉の入力	フリーハンド	○	○	*	
			キーボード入力					
			カードとつながぎ言葉のグループ化					
	グループワーク	学習者によるグループ設定 / 切り替え				○	*	*
		ノート、ページへの同時編集						
		編集保護、編集者表示						
		ノートの結合						
	画面合体	画面の合体	2画面、3画面、4画面など任意の台数で合体			○	*	*
			縦、横など任意の形で合体					
		ページの合体表示、ページへの同時編集						
		線・図形・マルチメディアファイル・文字などの端末間移動						
合体解除時のページ共有								
相互評価	評価フォルダ	作品の公開	教材作品・発表ノートからの公開			○	*	*
		作品の一覧表示						
		作品の選択	学習者による任意選択					
			教員からの指定					
	評価入力	付箋紙の貼り付け	色による段階評価			○	*	*
			文字入力による評価					
			指し棒					
	評価確認	評価者、評価内容の確認				○	*	*
		学習者による確認	公開した作品					
		教員による確認	評価フォルダ内のすべての作品					
評価設定	評価フォルダ・評価基準の設定				○	*	*	
問題作成・出題	選択、並べ替え、手書き入力、計算、記述式							
学習履歴の確認	学習者による確認							
	教員による確認	学習者ごとに確認						
		問題集ごとに確認						
	投影非対応							
問題の流し込み(更新)								

機能名	機能詳細	エディション		
		SR	ST	LT
ワイヤレスディスプレイ& 無線LAN連携※4	投影の開始 / 終了の制御	○	*	*
	タイマーのマルチモニター表示			
	災害時の一般開放設定			
	無線LAN接続状況確認			
	無線AP電源スケジュール連携			
無線LAN環境への配慮	画面転送時のフレームレート設定	○	○	○
	画像取り込み時の自動圧縮			
	各端末の無線インジケータ表示			
	授業グループへの自動再参加			
	教材配付 / 回収時のリトライ対応			
	無線への再接続			
	オフライン利用時のファイルをアップロード			
	差分ファイル保存(発表ノート)			

※4 ワイヤレスディスプレイアダプタおよび無線LANアクセスポイントの製品によって、活用できる機能が異なります。詳しくは56ページを参照してください。

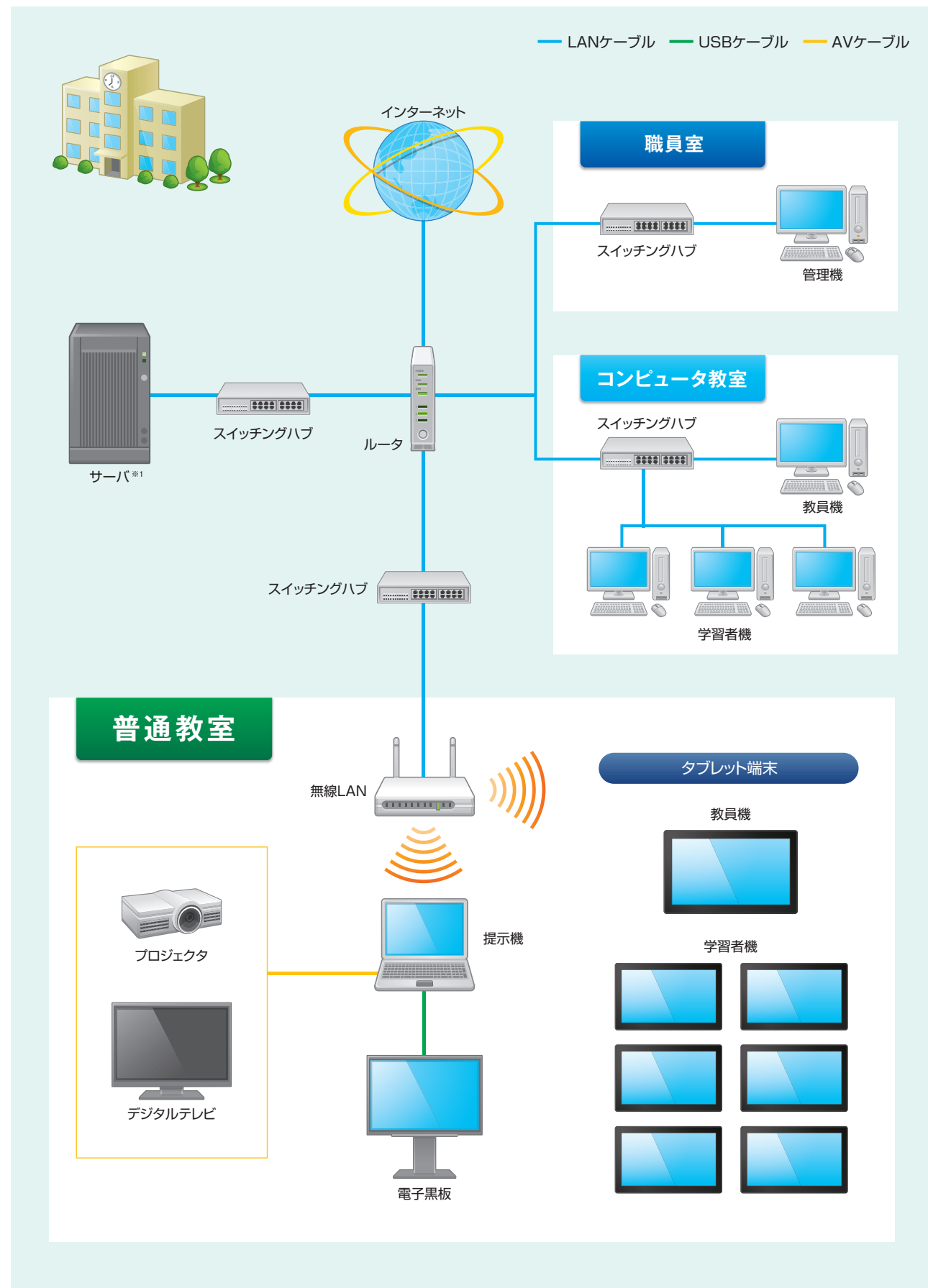
 ユーザ情報

機能名	機能詳細	エディション		
		SR	ST	LT
ユーザ情報登録 / 変更 / 削除	一括 / 個別	○	○	○
ドラッグ&ドロップによる登録・進級処理	学校で利用されている名簿(Excel形式)を使って一括登録・一括進級処理	○	○	○
Active Directory連携	Active Directoryへ自動登録	○	○	○
学年別辞書	辞書の学年別切り替え	○	○	—
個人 / グループフォルダ	個人 / グループフォルダの自動生成 / 表示	○	○	○
	個人 / グループフォルダの管理			
	既存フォルダ(ネットワークドライブ)の登録 / アクセス			
	他の学習者フォルダ(個人フォルダ)の登録 / アクセス			
	個人フォルダへマイドキュメント・マイミュージック・マイピクチャを自動マッピング			

機能名	機能詳細	エディション		
		SR	ST	LT
パスワード変更	学習者のパスワードを一括変更	○	○	○
	学習者本人がパスワードを変更			
ユーザ名表示	ログオンしているユーザ名(名前)の表示	○	○	○
かんたんログオン	低学年向けログオン画面(Active Directory連携時は、Windows認証との連動も可)	○	○	○

 校内ネットワーク

機能名	機能詳細		エディション		
			SR	ST	LT
確認	校内ネットワーク上のコンピュータの状況を確認		○	○	○
制限	スタートメニュー、デスクトップ、システム、アプリケーション、ドライブ、インターネット		○	○	○
	指定URLの閲覧制限 / 許可	指定対象URL入力 / ファイルインポート			
	授業向け設定(エクスプローラのアイコン・文字サイズ調整など)				
	Windows ストア アプリのインストール制限				
	タイル画面の設定・編集				
電源	電源ON / OFF、ログオン、ログオフ、再起動		○	○	○
キーボード・マウス転送	単体操作、一斉操作、画面位置合わせ、静止画巡回表示		○	○	○
Update支援	Sky製品のアップデート		○	○	○
	Windows Update支援				
ログ	アプリケーション、プリンタ、IPアドレス・ユーザID、インターネット閲覧		○	○	○
復元	クライアント復元		*	*	*
作品ビューア	閲覧	閲覧するファイルの絞り込み	○	○	*
		プレビュー表示			
		スライドショー			
	配付・回収	ファイル、フォルダの配付 / 回収			



※1 サーバがない環境やサーバに接続できない環境でもご利用いただけます。ただし、制約事項がございますので、詳細は別途お問い合わせください。

■ 学校サーバ

CPU	デュアルコア Intel® Xeon® 3GHz以上※1
メモリ	DDR2 2GB以上
OS	Windows Server 2008 SP2 Standard※2 Windows Server 2008 R2 SP1 Standard※2,3 Windows Server 2012 Standard※2 Windows Server 2012 R2 Standard※2,3,4 Windows Server 2016 Standard※2,4

※1 x64 プロセッサの場合は、Intel Xeon / Pentium / Celeronファミリ、AMD Athlon / Opteronファミリまたは互換性のあるプロセッサが必要です。Intel Itaniumプロセッサには非対応。 ※2 サーバソフトウェアをインストールする場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 およびMicrosoft .NET Framework 4.6、Microsoft .NET Framework 4.6の言語バックの手動インストールが必要です。また、Windows Server 2008の場合は、Windows PowerShell 2.0の手動インストールも必要です。 ※3 新規インストールのみ対応します。 ※4 最新のアップデート環境での動作を保証します。

■ 教員機・学習者機※1

CPU	Intel® Atom™ Z2760 1.80GHz以上※2,3 Intel® Core™ i3-3217U 1.80GHz以上
メモリ	2GB以上※3,4
OS※5	Windows 8.1※6(with Bing※7 / Pro / Enterprise) Windows 10※6(Home※7 / Pro / Enterprise / Education)
ディスプレイ	1280×768以上、2736×1824以下※8

※1 「クライアント復元」がインストールされた端末を、Windows 8からWindows 8.1やWindows 10へアップグレードする場合、クライアント復元機能を再インストールする必要があります。※2 C PUの処理性能は、動作環境表以外にも、コア数やキャッシュ等の要因で左右されます。OSが推奨する環境以上のものをご用意ください。※3 「追ったが再生」を使用する場合は、CPUはIntel Core i5 1.7GHz以上、メモリは4GB以上を推奨します。※4 64bit版OSでクライアント復元機能を使用する場合は3GB以上が必要です。※5 Microsoft .NET Framework 3.5およびMicrosoft .NET Framework 4.6の手動インストールが必要です。また、ハイブリッドブート機能が有効な環境では、電源機能の電源ONをご利用いただけません。※6 最新のアップデート環境での動作を保証します。※7 Windows 8.1 with Bing、Windows 10 Homeはドメインに参加できなかった、シングルユーザーの「Windows Update支援」など一部の機能が使用できません。また、Windows 10 Homeは「クライアント復元」に対応していません。※8 ワイドディスプレイにも対応しています。また、DPI設定は200%まで対応しています。

■ 提示機

CPU	Intel® Atom™ Z2760 1.80GHz以上※1 Intel® Celeron® 585 2.16GHz以上
メモリ	1GB以上※2
OS	Windows 7 SP1 (Professional / Enterprise / Ultimate) Windows 8.1※3 (with Bing※4 / Pro / Enterprise) Windows 10※3 (Home※4 / Pro / Enterprise / Education)

※1 CPUの処理性能は、動作周波数以外にも、コア数やキャッシュ等の複数の要因で左右されます。OSが推奨する環境以上のものをご確認ください。※2 Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 64bit版、タブレット端末の場合は、2GB以上が必要です。※3 最新のアップデート環境での動作を保証します。※4 Windows 8.1 with Bing、Windows 10 Homeはドメインに参加できないため、シングルサインオンや「Windows Update 支援」など一部の機能が使用できません。また、Windows 10 Homeは「クライアント復元」に対応していません。

校内端末^{※1}

CPU	Intel [®] Celeron [®] 560 2.13GHz以上
メモリ	1GB以上 ^{※2}
OS	Windows 7 SP1 (Professional / Enterprise / Ultimate) Windows 8.1 ^{※3} (with Bing ^{※4} / Pro / Enterprise) Windows 10 ^{※3} (Home ^{※4} / Pro / Enterprise / Education)

※1 ユーザ管理ツールや作品ビューアなどを利用するための端末。 ※2 Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 64bit版では2GB以上が必要です。 ※3 最新のアップデート環境での動作を保証します。 ※4 Windows 8.1 with Bing、Windows 10 Homeはドメインに参加できないため、シングルサインオンや「Windows Update支援」など一部の機能が使用できません。また、Windows 10 Homeは「クライアント復元」に対応していません。

無線LAN^{※1}

今後、動作確認製品を増やしてまいります。最新情報はWebサイト(<https://www.skymenu-class.net/operation/>)でご覧いただけます。

▼ 動作確認製品

- アイ・オー・データ機器社製：WHG-NAPG/A、WHG-AC1750A、WHG-AC1750AL
- アイコム社製：AP-9000
- アライドテレシス社製：AT-TQ4400、AT-TQ4600
- NECプラットフォームズ社製：NA1000A、NA1000W
- NTT東日本社製：ギガらくWi-Fi ベーシックプラン、ギガらくWi-Fi ハイエンドプラン
- エレコム社製：WAB-I1750-PS、WAB-S1167-PS、WAB-M2133
- サイレックス・テクノロジー社製：SKY-AP-300AN、SKY-AP-301AN、SKY-AP-302AN
- シスコシステムズ合同会社製：AP1600^{※2}、AP2600^{※2}、AP2700^{※3}
- バッファロー社製：WAPM-AG300N、WAPM-APG300N、WAPM-APG600H、WAPS-APG600H、WAPM-1166D、WAPM-1750D、WAPM-2133TR
- パナソニック社製：EA-7HW02AP1
- フォーティネット社製：AP832i^{※4}、AP832e^{※4}
- 富士通社製：SR-M50AP1
- フルノシステムズ社製：ACERA 850F、ACERA 950
- ヤマハ社製：WLX202、WLX302
- Ruckus Wireless社製：ZoneFlex™ R500

※1 無線LANアクセスポイントのファームウェアは最新に更新されていることが必要です。 ※2 無線LANコントローラ: Cisco 2500 シリーズにて動作確認しています。 ※3 無線LANコントローラ: Cisco 5500 シリーズにて動作確認しています。 ※4 無線LANコントローラ: FWC-50Dにて動作確認しています。

▼ 無線LANメーカー推奨品 〈無線LANメーカー様推奨の製品です。各メーカー様より、動作確認製品と同様の動作が可能とご連絡をいただいております。〉

- エレコム社製：WAB-S600-PS
- シスコシステムズ合同会社製：1830シリーズ、2800シリーズ
- フルノシステムズ社製：ACERA 810、ACERA 1010、ACERA 1020
- ヤマハ社製：WLX402
- Ruckus Wireless社製：ZoneFlex™ R510

無線LANは、構築設定や周辺環境などによる影響を受けるため、必ずしも上記製品での動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

「ワイヤレスディスプレイ&無線LAN連携」の対応について

ワイヤレスディスプレイアダプタ製品によって、使える機能が異なります。最新情報については、Webサイト(<https://www.skymenu-class.net/operation/>)をご確認ください。

- エレコム社製：ECB-G01HD^{※1}
連携機能(投影の開始 / 終了の制御、タイマーのマルチモニター表示)
- サイレックス・テクノロジー社製：SKY-AP-300AN^{※2}、SKY-AP-301AN^{※3}、SKY-AP-302AN
連携機能(投影の開始 / 終了の制御、タイマーのマルチモニター表示、災害時の一般開放設定^{※4}、無線LAN接続状況確認、無線AP電源スケジュール連携)
- バッファロー社製：LDV-HDA^{※1}
連携機能(投影の開始 / 終了の制御、タイマーのマルチモニター表示)
- パナソニックESネットワークス社製：SK-EML8TPoE+
連携機能(無線AP電源スケジュール連携)
- フルノシステムズ社製：ACERA 850F^{※2}、ACERA 950^{※2}
連携機能(投影の開始 / 終了の制御)
- ロジテック社製：LDE-WHDI202TR 〈ワイヤレスHDMI送受信機セットに対応しています。〉

※1 無線アクセスポイントと組み合わせることでご利用いただけます。 ※2 制限事項や事前確認事項などがございますので、詳細については別途お問い合わせください。 ※3 「災害時の一般開放設定」および「無線AP電源スケジュール連携」には対応していません。 ※4 サイレックス・テクノロジー社製の統合管理ソフトウェアと連携します。

「投影」の対応プロジェクタ

最新情報については、Webサイト(<https://www.skymenu-class.net/operation/>)をご確認ください。

▼ 制御 / 画面送信対応 プロジェクタ

- NECディスプレイソリューションズ社製：NP-P420XJL、NP-P350WJL、NP3250J、NP2250J、NP1250J、NP3250WJ、NP-PA600XJL、NP-PA550WJL、NP-PA500UJL、NP-PA500XJL13ZL、NP-PA550WJL13ZL、NP-P451XJL、NP-P501XJL、NP-P401WJL、NP-P451WJL
- セイコーエプソン社製：EB-85、EB-826W、EB-825、EB-825VP、EB-900、EB-910W、EB-925、EB-1725、EB-1735W、EB-1760W、EB-1770W、EB-1775W、EB-1910、EB-1915、EB-1920W、EB-1925W、EB-G5350、EB-G5650W、EB-G5950、EB-G5750WU、EMP-1705、EMP-1715、EMP-1815、EMP-1825、EB-450W、EB-460、EB-455WT、EB-465T、EB-905、EB-915W、EB-1880、EB-430、EB-435W、EB-480、EB-485W、EB-480T、EB-485WT、EB-Z8150、EB-Z10000、EB-Z10005、EB-Z8350W、EB-Z8355W、EB-Z8450WU、EB-Z8455WU、EB-1410WT、EB-436WT、EB-426WT

▼ 制御対応プロジェクタ

PJLink対応プロジェクタ(弊社は、現時点において、型番を明記させていただいているプロジェクタ以外については動作確認を行っておりません。規格上動作可能となっております。PJLinkの詳細については、Webサイト(<http://pjlink.jbmia.or.jp/>)をご参照ください。)



本ソフトウェアは、データプロジェクタを操作・管理するために一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)で策定された業界統一規格「PJLink」に対応しています。

■ 教育センターにサーバを設置、各学校のサーバをNASで運用する場合について（推奨品）

最大同時接続台数については、ご使用のNASメーカー様へお問い合わせください。

- アイ・オー・データ機器社製：【Windows Storage Server 搭載モデル】HDL-Z6WLC2シリーズ、HDL-Z2WLC2シリーズ、HDL-Z4WLC2シリーズ、HDL-Z4WLCR2シリーズ、HDL-Z2WMC2シリーズ、HDL-Z4WMC2シリーズ、【オリジナルOSモデル】HDL-XRWシリーズ、HDL-XR2UWシリーズ、HDL-Hシリーズ
- エレコム・ロジテック社製：LSV-5S4CW2シリーズ、LSV-5S4R1Wシリーズ、LSV-5S4CQWシリーズ、LSV-5S4RQWシリーズ、LSV-5S4CKWシリーズ、LSV-5S4CKSシリーズ、LSV-MS2VKWシリーズ
- パッファロー社製：【Windows Storage Server 搭載モデル】WS5000N6シリーズ、WS5000N2シリーズ、【オリジナルOSモデル】TS5010シリーズ、TS3010シリーズ、TS5000シリーズ

■ シンククライアント対応について

- ヴァイエムウェア社製：VMware® Horizon View
- Citrix Systems社製：XenDesktop®

※それぞれの最新バージョンに対応予定です。制限事項などがありますので、詳細は別途お問い合わせください。

■ 取り付け型タッチモジュールの対応について

- アイ・オー・データ機器社製：DA-TOUCH

最新情報については、Webサイト (<https://www.skymenu-class.net/operation/>) をご確認ください。

■ パブリッククラウド対応について

学校サーバは、Microsoft Azure Virtual Machines上での動作をサポートいたします。詳細は別途お問い合わせください。 ※1,2,3,4,5,6

※1 必要なインスタンスは、本書に記載のハードウェアスペックに準じます。詳細は54ページを参照してください。また、クライアント接続台数が同数であっても実際のシステムの負荷は大きく異なりますので、実際の負荷に合わせて適切なインスタンスをご選択してください。 ※2 オンプレミスでの運用と同様に学校サーバとクライアント間、およびクライアント同士が相互に通信する必要があります。 ※3 パブリッククラウド利用時には、各クラウドサービス事業者が推奨する可用性の確保やデータバックアップの実施を強くお勧めいたします。 ※4 1つのVirtual Machines上で500ユーザまでご利用いただけます。 ※5 個人フォルダは、各学校に設置されたNASで動作検証をしています。 ※6 教育委員会や学校で定める情報セキュリティポリシーで、学校外にデータを保存することが認められているかなど、パブリッククラウドの利用に関する規定をご確認ください。

■ 注意事項

「校内・校外連絡」の注意事項

- Microsoft Office 365 Educationの契約が必要になります。

Internet Explorerご使用時の注意事項

- Windows 8.1以降では、スタート画面のInternet Explorerパネルから起動するInternet Explorerと、デスクトップ画面から起動するInternet Explorerは、別のソフトウェアとなります。本商品でInternet Explorerを使用する場合、デスクトップ画面から起動するInternet Explorerを使用してください。ただし、下記の機能はスタート画面のInternet Explorerパネルから起動するInternet Explorerに対しても有効です。
 - ・ 普通教室（インターネット関連）の「Webブラウザ利用制限」
 - ・ 校内ネットワーク運用支援（制限）の「指定URLの閲覧制限 / 許可」
- 普通教室（インターネット関連）の「Webブラウザ利用制限」の対象となった端末は、デスクトップ画面から起動するInternet Explorerのみ使用できます。なお、スタート画面のInternet Explorerパネルから起動した場合も、デスクトップ画面から起動します。

- 普通教室（インターネット関連）の「かんたんWebページ閲覧」を使用する場合は、デスクトップ画面からInternet Explorerを起動してください。また、「かんたんWebページ閲覧」によって送られたWebページは、学習者機のデスクトップ画面から起動するInternet Explorerで表示されます。
- Internet Explorerの仕様が変更された場合は、インターネット関連機能をご利用いただくことができなくなる場合があります。

タブレット端末ご使用時の注意事項

- タブレット端末をご利用いただく場合は、画面を横向きにしてご利用ください。縦向きにした場合、一部の機能で正常に表示されないことがあります。

ご利用いただくにあたって

- ご購入いただくライセンスによって、利用期間が異なります。利用期間のみ活用いただけるライセンス形態となっています。利用期間中は、常に最新のソフトウェアをご利用いただけます。

海外での利用について

- SKYMENU Classは、日本国内における使用のみを前提として製造されております。外国にて使用すること、および、外国へ持ち出すことはできません。

SKYMENU Classを安全にご利用いただくために
セキュリティ・脆弱性への対応について

OSやソフトウェア製品を安全にご利用いただくためには、脆弱性への対応として、バージョンアップや修正プログラムの速やかな適用が重要となります。これは、SKYMENU Classも例外ではありません。

「ソフトウェアを導入する際には、その時点での最新版を使用することが適切な対応ですが、時間の経過とともに新たな脆弱性（ぜいじゃくせい）が発見されるため、情報管理担当者はソフトウェアを常に最新にする対応を行う必要があります。ソフトウェアの開発元やシステム機器メーカーから、ソフトウェアに対する更新プログラムが配布されることがあります。更新の内容には、ソフトウェアへの機能の追加・修正や、脆弱性の修正などがありますが、特に脆弱性の修正に関するものについては日々注視しておく必要があります。」

出典:総務省ホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/)

上記の脆弱性に対する総務省の考えに倣い、弊社では、ソフトウェアを安全に使い続けていただくために、脆弱性対策としてソフトウェアを常に最新の状態に保つことが重要だと考えています。そのために弊社では、WebサイトにてSKYMENU Classを含む弊社製品の各種セキュリティ・脆弱性に関する情報をいち早く掲載し、皆さまが安全に製品をご利用いただけるよう努めてまいります。

脆弱性情報の公開方法について

弊社製品の脆弱性については、以下のWebページにて公開しています。

セキュリティ・脆弱性について ▶ <https://www.skygroup.jp/security-info/>

また、SKYMENU Classを含む、ソフトウェアの脆弱性などの情報は、JVN※1 (<https://jvn.jp/>) にて公開されています。

※1 JVN (Japan Vulnerability Notes) とは、日本で使用されているソフトウェアなどの脆弱性関連情報とその対策情報を提供し、情報セキュリティ対策に資することを目的とする脆弱性対策情報ポータルサイトです。脆弱性関連情報の受付と安全な流通を目的とした「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」に基いて、2004年7月よりJPCERTコーディネーションセンターと独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が共同で運営しています。

2017年11月27日現在の情報で、予告なく変更される場合があります。最新情報は、Webサイト (<https://www.skymenu-class.net/operation/>) でご覧いただけます。